

除草剤

技術資料

速く 最速3日<sup>\*1</sup>で枯れ始める  
 長く 約7~8カ月<sup>\*2</sup> (秋処理30g/m<sup>2</sup>の試験成績)  
 雑草予防<sup>\*3</sup>

## クサノン<sup>®</sup> EX粒剤

### Q & A



商品名	クサノン <sup>®</sup> EX粒剤
登録番号	農林水産省登録 第23825号
成 分 (含有量)	ターバシル (2.0%) フルミオキサジン(0.20%)
性 状	類白色細粒
種 類 名	ターバシル・フルミオキサジン粒剤
容 量	5kg 入

\*1 草丈20cm以下の一年生雑草での事例

\*2 最大散布量を散布した場合の刈り取り不要最長期間の目安で、雑草が全く発生しないということではありません。  
持続期間は土壌条件、気象条件によって変動します。

\*3 雜草種子の発芽抑制を指す

## はじめに

粒剤タイプの除草剤は、効果の特長として、持続性があることから、家の周り、駐車場、お墓参りの際などの除草で使用されることが多いようです。そういった除草粒剤ユーザー様からのお声として「長く効くのは良いが、なるべく早く枯らしたい」「春先や秋口（低温時）の雑草予防に使えないか」といったご要望があります。**クサノン<sup>®</sup> EX粒剤**は、これらのご要望にお応えする、速く効く、長く効く、そして一年中使える除草剤です。有効成分は根までしっかり枯らす成分「ターバシル」と、すばやく、長く、低温でも効く成分「フルミオキサジン」で、多種多様の雑草防除に効果をあらわします。しかも効き目は7～8ヵ月※2（秋処理 30g / m<sup>2</sup>の試験成績）で、従来の緑地管理用除草粒剤の中でも最長クラスの効果持続期間を実現しました。夏草除草におすすめのシャワー剤（**草退治シャワー**など）と組み合わせて使うことで、年間の雑草防除が、より手軽に行えます。

## CONTENTS

はじめに	2
Q 1 クサノン <sup>®</sup> EX粒剤 の特長を教えてください。	3
Q 2 有効成分について教えてください。	3
Q 3 登録内容を教えてください。	3
Q 4 効果のある雑草を教えてください。	4
Q 5 敷布後どれくらいで枯れ始めますか？	4
Q 6 7～8ヵ月の効果持続期間を示す試験結果を紹介してください。	5
Q 7 低温でも効くとのことですですが、どのようなメリットがあるのですか？	5
Q 8 従来の粒剤に比べ粒が小さいのですか？	5
Q 9 敷布のコツを教えてください。	6
Q 10 効果的な散布タイミングを教えてください。	6
Q 11 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。	6
Q 12 使用上の注意点があれば教えてください。	7
Q 13 補足事項があれば教えてください。	7

※2 最大散布量を散布した場合の刈り取り不要最長期間の目安で、雑草が全く発生しないということではありません。  
持続期間は土壌条件、気象条件によって変動します。



## Q1. クサノン® EX 粒剤 の特長を教えてください。

- 1** 2種類の有効成分で、スギナ・ヨモギ・ヤブガラシなど各種雑草の葉や茎だけでなく根までスッキリ枯らします。
- 2** 除草効果は最速3日※1であらわれはじめ、長期間(7~8カ月※2(秋処理30g/m<sup>2</sup>の試験成績))雑草の発生をおさえます。
- 3** 低温期でも良く効くので、春先や秋口の雑草が生え始める時期はもちろん、年間を通じた雑草防除ができます。
- 4** らくらく散布容器付きなので、そのまま手を汚さずに手軽に使用できます。

※1 草丈20cm以下の一年生雑草での事例

※2 最大散布量を散布した場合の刈り取り不要最長期間の目安で、雑草が全く発生しないということではありません。  
持続期間は土壌条件、気象条件によって変動します。



## Q2. 有効成分について教えてください。

### ターバシル：根までしっかり枯らす成分

ダイアジン系の除草成分で、効果が長いのが特長です。雑草の根からも茎葉からも作用し、光合成の電子伝達系を阻害することで枯らします。一年生雑草には発芽前の種子、生育中の雑草に対して効果があります。

### フルミオキサジン：すばやく、長く、低温でも効く成分

フェニルフタルイミド系の除草成分です。根と茎から吸収される成分で、植物のクロロフィル(葉緑素)生合成経路のプロトボルフィリノーゲン酸化酵素を阻害することで、雑草を枯死させます。その作用は速効的で、一年生雑草などでは処理後1日で効果をあらわし、数日のうちに枯死に至ります。また土壌中の移動が少なく、土壌表層に吸着しやすいので、雨などの流亡も少なく、しっかりと効き目をあらわします。



## Q3. 登録内容を教えてください。

適用場所は駐車場や宅地など植栽地を除く場所です。対象雑草は一年生雑草及びイネ科以外の多年生雑草全般です。茎葉だけでなく、土壌にも散布することで、有効成分が土壌に留まり、約7~8カ月間(秋処理30g/m<sup>2</sup>の試験成績)効果が持続します。

### 【適用雑草と使用方法】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数*	使用方法
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地等	一年生雑草	雑草発生前	5~15g/m <sup>2</sup>	本剤:1回 ターバシル: 1回 フルミオキサジン: 3回以内	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布
	雑草生育初期 (草丈20cm以下)		20~30g/m <sup>2</sup>			
	多年生広葉雑草 スギナ		20~40g/m <sup>2</sup>			



## Q4. 効果のある雑草を教えてください。

一年生雑草及び多年生広葉雑草全般に効果を示します。退治の難しいスギナ、カタバミもしっかりと枯らし、セイタカアワダチソウ、ヤブガラシも初期発生で効果がある事例があります。

### ■日本植物調節剤研究協会、社内試験で効果の確認された草種

#### 【一年生雑草】

アキノエノコログサ、アレチノギク、アメリカフウロ、イヌタデ、イヌビエ、イヌビユ、イヌホオズキ、エノキグサ、エノコログサ、オオイヌノフグリ、オオツメクサ、オニノゲシ、オランダミミナグサ、カヤツリグサ、カラスノエンドウ、キツネノマゴ、キンエノコロ、コニシキンソウ、コメツブウマゴヤシ、ザクロソウ、シロザ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、スペリヒユ、タチイヌノフグリ、タネツケバナ、ツメクサ、ツユクサ、ツルマメ、トキワハゼ、ナギナタガヤ、ナズナ、ニワホコリ、ノボロギク、ノミノフスマ、ヒメムカシヨモギ、ハキダメギク、ハコベ、ヒメオドリコソウ、ヒメジョオン、ホソアオゲイトウ、ホトケノザ、マルバツユクサ、メヒシバ、メマツヨイグサ、ヤハズソウ、ヤブタビラコ

#### 【多年生広葉雑草】

イヌガラシ、オオアレチノギク、オオバコ、カタバミ、ギシギシ、キツネアザミ、クサイ、クズ、コオニタビラコ、シリツメクサ、スイバ、スギナ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、チドメグサ、ドクダミ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメクグ、ヘビイチゴ、メドハギ、ヤブガラシ、ヨモギ



## Q5. 散布後どれくらいで枯れ始めますか？

散布後、最速3日で枯れ始めます。**クサノン<sup>®</sup>EX粒剤**の有効成分は土壌からだけでなく、茎葉からも吸収される成分です。本剤の使用方法は土壌散布となっていますが、実際に使用する際、雑草茎葉にかかる無駄にはならず、むしろ葉と根の両方からの作用で、効果が早く現れてきます。



【発生雑草】スズメノカタビラ、ナズナ、オランダミミナグサ、ホトケノザ、ノボロギク、オニノゲシ、カタバミ、タネツケバナ

処理日：2016年3月7日 試験期間：2016年3月7日～4月8日 処理量：20g/m<sup>2</sup>

試験時草種：スズメノカタビラ、ナズナ、オランダミミナグサ、ホトケノザ、ノボロギク、オニノゲシ、カタバミ、タネツケバナ

試験場所：茨城県筑西市



## Q6. 7～8カ月の効果持続期間を示す試験結果を紹介してください。

**クサノン<sup>®</sup>EX粒剤**の特長である効果の持続性を示す試験例です。8カ月以上の間、効果が持続しています。

### ■秋処理(2015年10月2日～2016年6月16日)での効果確認

供試薬剤	処理量 (g/m <sup>2</sup> )	処理後日数(日付) 除草効果(防除率)							
		27日目 10月29日	84日目 12月25日	105日目 1月15日	157日目 3月7日	189日目 4月8日	203日目 4月22日	221日目 5月10日	258日目 6月16日
<b>クサノン<sup>®</sup>EX粒剤</b>	30	100	100	100	100	100	100	100	100

	処理直後	27日後	60日後	172日後	203日後	221日後	258日後
<b>クサノン<sup>®</sup>EX粒剤</b>							
無処理							

処理日：2015年10月2日 秋期、雑草生育初期(草丈10cm以下)  
試験時草種：メヒシバ、ホトケノザ、ノボロギク、スズメノカタビラ他

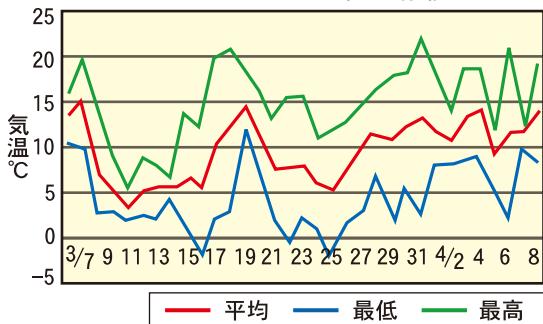
処理量：30g/m<sup>2</sup>  
試験場所：茨城県筑西市



## Q7. 低温でも効くとのことですですが、どのようなメリットがあるのですか？

一般に除草粒剤を土壤に処理すると、雑草が根から有効成分を吸収することで除草効果をあらわします。そのため、土壤が乾燥している場合や、低温で雑草の生育が緩慢な場合など、根からの吸収が不十分な場合は効果があらわれにくくと言われています。

3月7日～4月8日気温の推移



## Q8. 従来の粒剤に比べ粒が小さいですか？

**クサノン<sup>®</sup>EX粒剤**の粒は従来の粒剤に比べ小さいので、同じ重量でも粒の数が多くなります。例えばクサノン<sup>®</sup>D X粒剤と比べると1gあたりの粒数が約1.3倍になります。粒が小さいことで、より均一に散布できるので、安定した効果が期待できます。

クサノン <sup>®</sup> EX粒剤: 約2,200粒/g	クサノン <sup>®</sup> DX粒剤: 約1,700粒/g
 20g/m <sup>2</sup>	 粒径比較(30粒達觀)



## Q9. 散布のコツを教えてください。

**クサノン®EX粒剤** の上手な散布のコツは次のとおりです。

- 土壤に散布する際、雑草茎葉にもかかるようにすると、効果がより早くあらわれます。
- 降雨後や充分に水をまいた後など、土壤に湿気があるときに散布します。
- 雜草発生前から草丈が 20cm 以下の時に散布します。
- 雜草が大きくなりすぎた場合は刈り払い後早めに散布します。
- 本剤はそのまま散布して使えます。水に溶かしません。



## Q10. 効果的な散布タイミングを教えてください。

**クサノン®EX粒剤** の特長を生かした効果的な散布タイミングの例です。ご参考にしてください。

### ■効果的な散布量と散布時期の目安

★関東地方を基準にしています。

効果のある雑草	使用時期	使用量	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
一年生雑草 (メヒシバ、エノコログサ、スズメノカタビラなど)	【雑草発生前】 雑草の発芽前	5~15g/m <sup>2</sup>												
	【雑草生育初期】 雑草が伸び始めるころ (草丈20cm以下)	20~30g/m <sup>2</sup>												
多年生広葉雑草 (ヤブガラシ、ハルジオン、ヨモギなど)、スギナ	【雑草生育初期】 雑草が伸び始めるころ (草丈20cm以下)	20~40g/m <sup>2</sup>												

● 秋口から冬期の雑草発生前にあらかじめ散布することで、春先から夏期までの雑草発生を抑えます。  
 ● 夏期(7~8月)に大きくなり過ぎた雑草(草丈20cm以上)には、刈り払い後に散布すると効果的です。  
 雜草の生育が盛んになる時期は、雑草茎葉に散布して枯らす草退治シャワーシリーズが効果的です。



## Q11. 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

**クサノン®EX粒剤** の安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●人畜毒性：普通物相当(※1)</li> <li>●急性経口毒性 LD<sub>50</sub>(※2) ラット♀ &gt; 2,000mg/kg</li> <li>●急性経皮毒性(※3) LD<sub>50</sub> ラット♂♀ &gt; 2,000mg/kg</li> <li>●眼刺激性 極く軽度の刺激性あり(ウサギ)</li> <li>●皮膚刺激性 刺激性なし(ウサギ)</li> <li>●皮膚感作性 感作性なし(モルモット)</li> <li>●水産動植物に対する影響           <ul style="list-style-type: none"> <li>・コイ LC<sub>50</sub> (96hr)(※4) &gt;1000mg /ℓ</li> <li>・オオミジンコ EC<sub>50</sub> (48hr)(※5) &gt;1000mg /ℓ</li> <li>・藻類 EbC<sub>50</sub> (0 - 72h)(※6) 0.953mg /ℓ</li> </ul> </li> </ul>	<p>※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。(普通物は毒劇物に該当しないものを指している通称です。)</p> <p>※2 LD<sub>50</sub>：半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当たりの薬物重量 (mg/kg, μg/g) で表す。(毒物：LD<sub>50</sub> 値 50mg/kg 以下、劇物：LD<sub>50</sub> 値 50mg/kg を超え 300mg/kg 以下)</p> <p>※3 (毒物：LD<sub>50</sub> 値 200mg/kg 以下、劇物：LD<sub>50</sub> 値 200mg/kg を超え 1,000mg/kg 以下)</p> <p>※4 LC<sub>50</sub>：半数致死濃度。薬物を接触させたり、投与する実験で、50%の個体を死に至らせる薬剤濃度。</p> <p>※5 EC<sub>50</sub>：一定条件下で供試生物の 50% に何らかの影響(生育阻害、遊泳異常など)を起こさせる薬物濃度。</p> <p>※6 EbC<sub>50</sub>：一定条件下で供試生物の 50% に生長阻害を起こさせる薬物濃度</p>
--	---



## Q12. 使用上の注意点があれば教えてください。

クサノン<sup>®</sup>EX粒剤 の使用上の注意事項は次のとおりです。

### 【効果・薬害等の注意】

- 雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、雑草発生前～生育初期、または雑草を刈払った後早めに散布してください。
- 土壌が極端に乾燥しているときの使用はさけ、適度の水分を含んでいるときに使用してください(効果)。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないでください(薬害)。
- 樹木等の周辺では樹冠下より1m以上離して使用してください。
- 植栽または、は種予定地、ハウス等の施設内及びその周辺、急な傾斜地では使用しないでください(薬害)。
- 激しい降雨が予想される場合は、使用をさけてください。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。



### 【安全使用上の注意】

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空袋等は良くたたいて中身を完全に出てから水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。

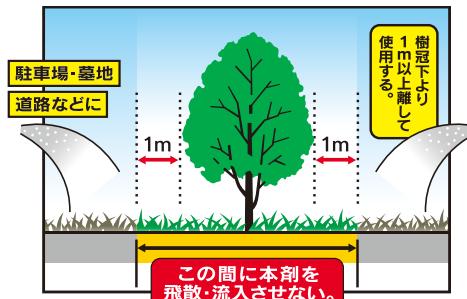


## Q13. 補足事項があれば教えてください。

クサノン<sup>®</sup>EX粒剤 の使用上の注意事項の補足として以下のような注意事項があります。

### [注意]

- 有用植物も枯らします。
- 植物のは種または植栽予定地には使用しないでください。
- 芝生には使用できません。
- 自動車、壁、ペット、洗濯物、玩具などにかかるないようにしてください。
- 土壌条件、気象条件(夏期乾燥時等)によっては、効果にむらが生じる場合があります。
- 雑草の中には枯れにくい種類もあります。





あしたを育てる。

## 住友化学園芸株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-8  
●商品についてのお問い合わせ先 TEL:03(3663)1128  
(9:30~12:00/13:00~16:30/土、日、祝日を除く)

住友化学園芸ホームページ

～ガーデニング・園芸・家庭菜園・暮らしの情報サイト～

eグリーンコミュニケーション  
• e-green communication •  
[www.sc-engei.co.jp](http://www.sc-engei.co.jp)

この印刷物の記載内容は2016年9月現在の内容です。

16.10.1